

情報戦の状況把握と 効果的な対応策/国際連携に関する調査研究

2023年度 外交・安全保障調査研究事業費補助金

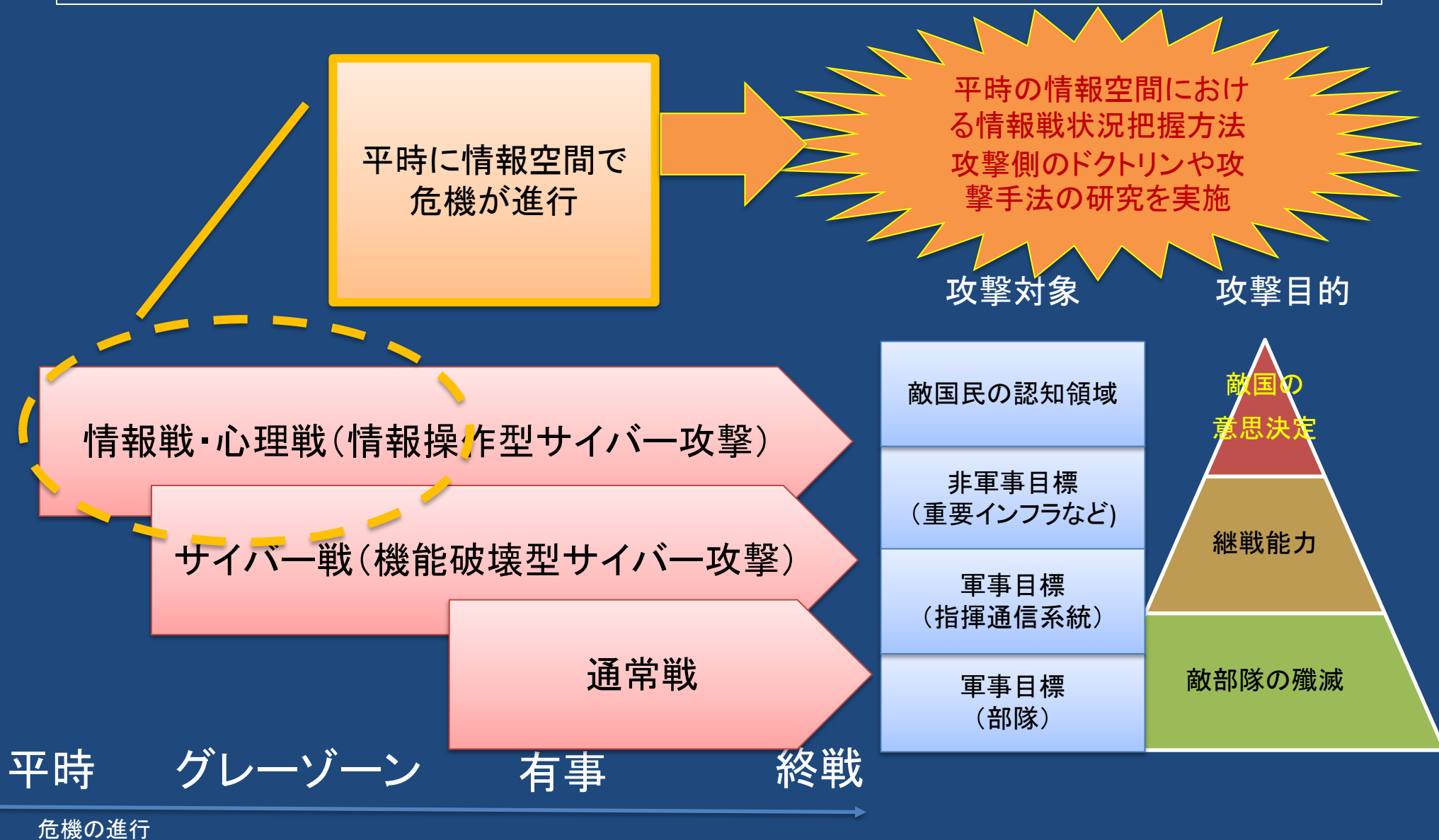
【調査研究事業:情報空間の拡大がもたらすリスク】

事業成果説明補足資料

2024年4月10日

(公財)中曽根康弘世界平和研究所

ハイブリッド戦で必要となる情報空間の状況把握・攻撃側の手法を研究



令和5年度事業：①SNS空間モニタリング(事例分析)、②攻撃側のドクトリン・手法の研究、③ASEAN諸国を中心とした施策の状況、について研究

情報収集・調査

検討

研究成果(知見)

SNS空間の
モニタリング

ニュースデー
タベース分析

SNS データベース
(外注)

外部企業の
研究チーム

賛助協力

情報空間の偽情報の
実例に関する検討

「情報空間のリス
ク研究会」
(研究者10名)
(若手8名、女性2名、地方1名)

攻撃側のドクトリ
ン・手法

攻撃側のドクトリン・手
法に関する分析

各国の施策

ASEAN各国の情報戦
対応施策の比較分析

①主権を巡る偽情報のSNS上での
広がりを観測
②偽ニュースサイトの内容分析とナ
ラティブの関係を解明
③ウクライナ復興会議前の偽情報拡
散とサイバー攻撃の複合型情報戦
の様相を解明

①攻撃側は「ナラティブ」を利用
②偽情報流布だけでなく、サイバー
攻撃を組み合わせた、複合型攻撃
の実施が攻撃側の手法
→新たな知見を情報空間の把握に
利用

研究成果をもとに

- ・官庁向け講演・ワークショップの実施
(外務省、内閣官房、防衛省、自衛隊)
- ・外務省向け報告書(非公開)
- ・書籍および学術誌掲載 計5点
- ・論文・コメンタリー 4点
- ・テレビ出演・新聞寄稿等13回
- ・ウェビナーの実施 1回
- ・米国CSIS、越国外交研究院での発表

偽情報拡散分析例：ウクライナ復興会議前の複合型情報戦

24年2月12日

2月12日にSNS空間で偽情報拡散のピークを観測

- ・岸田首相とヌーランド国務次官の会合の偽合成写真が親露アカウントのXにポスト。70万回以上再生。
- ・ウクライナ復興に50兆円との偽情報が拡散。



2月5日、12日にSNS空間で偽情報拡散のピークを観測

ロシア系攻撃グループによるDDoS攻撃に関するアンケート（犯行声明）を観測

2月13日

2月18日

NHK
偽画像に注意報道



ウクライナ復興会議（東京）

2月19日

2月19日

2月19日にロシア系攻撃者によるDDoS攻撃を観測

DDoS攻撃発生
衆議院(Noname)
自民党(Noname)
日本証券業協会(C22)
日本自動車工業会(PCA)
パナソニック(PCA)
国際経済交流財団(PCA)
岩谷産業 (PCA)

